

おいしいな、おいそう

ぱくぱく、もぐもぐ、むしゃむしゃ、ごっくん。
読むと思わずおながが鳴りそうな絵本です。



『やさいのおなか』 きうち かつ／さく・え 福音館書店



やさいを輪切りにした時、どんなかたちになるのか、わかりやすく見せてくれる本です。クイズのように、質問と答えをやり取りしながら楽しむことができます。実際に台所で試してみると楽しいでしょう。

『ぐりとぐら』

中川 李枝子／さく 大村 百合子／え 福音館書店

お料理と食べることが大好きなのねずみのぐりとぐらは、森で大きなたまごを拾いました。

おなべで料理して、完成したのはふんわりとした、特大のおいしいカステラです。

森の動物たちとカステラを分け合って仲良く食べる姿が、幸せな気分になさしてくれます。



『はらぺこあおむし』

エリック＝カール／さく もり ひさし／やく 偕成社

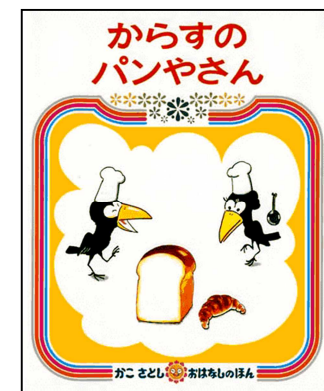


日曜日に卵から生まれたあおむしは、日に日に食べる量が増えていきます。月曜、火曜…いくら食べてもはらぺこのあおむしは、土曜日には食べ過ぎて、とうとうおながが痛くなってしまいます。大きくなったあおむしは、やがて……。

『からすのパンやさん』 かこさとし／絵と文 偕成社

からすのパンやさんの家に4羽も子どもが生まれて、お父さんとお母さんは大忙し。子育てに追われてお客さんも減ってしまうのですが、やがて子どもたちのおやつだった焦げパンが人気になります。

「とってもすてきなかわったかたちのパン」がいっぱいに描かれているページは、子どもたちに大人気です。



～その他にも～

『おだんごばん』・

瀬田 貞二／訳 脇田 和／絵 福音館書店

『じゃがいもポテトくん』

長谷川 義史／作・絵 小学館

『なにをたべてきたの？』

岸田 衿子／文 長野 博一／絵 佼成出版社

『パンやのくまさん』

フィービ・ウォージントン、セルピ・ウォージントン／さく・え まさき るりこ／やく 福音館書店